

パトカーに乗ったよ!



2/23(土) ぐったり交通冬まつりの会場内で新得警察署のパトカーにチビッ子が乗り記念撮影が、どの子もご満悦の様子でした。

紙面文字が大きくなりました!

1月号よりねっとわーく屈足の誌面文字が大きくなりました。読みやすく皆様に親しまれますようにこれからも努力いたします。
ねっとわーく屈足編集室

先日開催された、新得町の全町教育講演会・町PTA連合会教育講演会において、講師の札幌市環境局参与(丸山動物園担当)・前旭山動物園長の小菅正夫氏が「努力は必ず実を結ぶ!」これはウソだ!と言われていました。

私も教員経験の中で、同じように思った事があります。例えば、オリンピックに出場している選手は皆メダリストになることを目指して必死で頑張っていますが、各競技で数名の選手しかメダリストにはなれません。いくら一生懸命頑張っても思いどおりに行かないことは多々あります。しかし、目標を達成することが出来なかった時でも、最後まで必死で頑張っていると「やりきった!」「完全燃焼した!」などの充実感を味わうことが出来ます。

努力することで目標に近づくことが出来、それが励みになり、また頑張れる。そうやって努力した経験は成功・失敗の結果にかかわらず、自分の人生の糧となります。



「努力から得るものは?」

新得町屈足中学校校長 山下 英男



あるテレビ番組で某タレントの息子さんの中学受験に密着取材している番組を見ました。

有名私立中学校に合格するために一生懸命頑張っているのですが、思うように行きません。結果は本命の私立中学校に合格できませんでしたが、併願校の私立中学校には合格していました。

某タレントの方は、「息子や私たち家族がこの受験で合格以外に得たものは多い」と言われていました。最終的に息子さんは目標を達成できなかったわけですが、併願校に合格出来たことで、一定の充実感を得ることが出来たのだと思います。そして、支えてくれる両親の愛情やありがたさも学ぶことが出来たようです。

目標に向けて頑張りを続けていくために必要なことは、本人の強い思いとメンタルの強さ、そして支えてくれる人や温かい心が必要不可欠であると思うことだと思いました。

本

当販売所では様々なジャンルの書籍、雑誌、文庫、新書、週刊誌の定期購読など、ほとんど全ての出版物を確実にお取り寄せします。

今読みたい話題作! 欲しい本をお取り寄せ!

無送料

せ!
気軽にお問い合わせください。

通販は送料がかかりますが当販売所は無料です。

※当店取り置きとなります。宅配サービスは致しません。

うちら屈足駐在所



鈴木進司 巡査部長

「車上ねらいに注意」

昨年ですが、管内で車上狙いが多発しました。町中では、助手席等に置き忘れていたバッグなどを狙って、窓ガラスを割って盗む手口。農村地区では深夜時間帯に牧場などで駐車中の無施錠の車を狙って車内を物色し貴重品や現金を盗んでいくという手口。

防犯としては、「車内にバッグや貴重品を放置しない」「ドアロックは必ず行う。」

どの場においてもドアロックを必ず実施してください。

また、日中、駐車中の車の車内をのぞき込む人物や深夜に、特定の場所を何度も徘徊しているような不審者、不審車両を見かけた際には警察まで通報して下さい。



道新二月号のポケットブックの御案内です。



ポケットブック

2月号「揚げ物」調理後の油の処理がおくうで、つい敬遠しがちな揚げ物。とはいえず揚げたての食感や味わいは格別な上、家庭で作った料理はほっと気持ち持ちが和みます。本誌では、少量の油で揚げられるメニューや、残り油を使って作れる一品など、揚げ物料理のハードルがちよっと下がります。レシピを紹介。配布済み。

次号予告

「手作り甘酒活用レシピ」です。

お楽しみに。

連続小説

加奈子

赤池武臣

「今日の私はどうかしているよ全く…」

ポツンと呟(つぶや)き何かを思案していた加奈子は「ようし」と一声かけると茶筆筒(たんす)からブランドーを引き出した。湯呑みになみなみとつぎ、むせながら飲み始めた。ホステスをやめてからの十数年、酒類を口にした事はなかった。

茶筆筒にある酒類は装飾品であり、たまに来る来客用のものだった。

それが今朝、時子の軀から漂う女の匂いを嗅(か)いだことよって、急に酒を断っていた心が、音をたてて崩れていった。

思えば、一千万余り出して買った一人暮らしのマンションも何となく佗(わび)しい。

一人だけで送る正月も今までは気楽に思え、のんびりやってきた。

裸一貫で、これまでやりくりして来たのだと言う自負もあった。

それらの気負いが陽に当たるつららのように頼りなく溶けてゆく。

人間、落ち込んでくると、何もかも暗く澱(よど)み、目の前から昇華していった。

「下阿呆ッ、お前があの女をだらくさせてしまったんだ。」

お前は疫病神だッ。今迄(まで)の家賃はくれてやるからとつと出て失せろッ。今日中にだ。もたもたしていたら何もかも叩き壊してやるぞ。わかっただなッ」

加奈子は時子に対する妬みを男にたたきつけた。初めて見せる加奈子の醜態に下宿の皆が息をのんだ。

二人の妹もそれぞれ家庭におさまり、幸せに暮らしている事も噂(うわさ)で知っている。その妹達でさえ加奈子が家を出てから一度も下宿を尋ねて来たことはない。これまではその妹達に対して、突っ張って生きて来た加奈子にはむしろ好ましかった。たとえ身内といえども、自分の世界をかいまみられるのを拒んで来た。しかし今は違う。その事すら腹に据えかねた。自分を無視していることに腹が立った。

夕方、男はそそくさと出て行った。後を追うように時子達も姿を消した。

つづく

ねっとわーく屈足



ねっとわーく屈足電子版
ミニコミ紙「ねっとわーく屈足」が、パソコンやスマートフォンで動画も閲覧できます。
ツイッターも屈足の話一杯毎日更新!

じじ-akira1942

